

ワクワク^{ワク}をフミ越える

ワクワクとフムフムを両立した
島の高校生との交流メニューの提案

島根県立隠岐高校 2年
7班



隠岐の観光の今

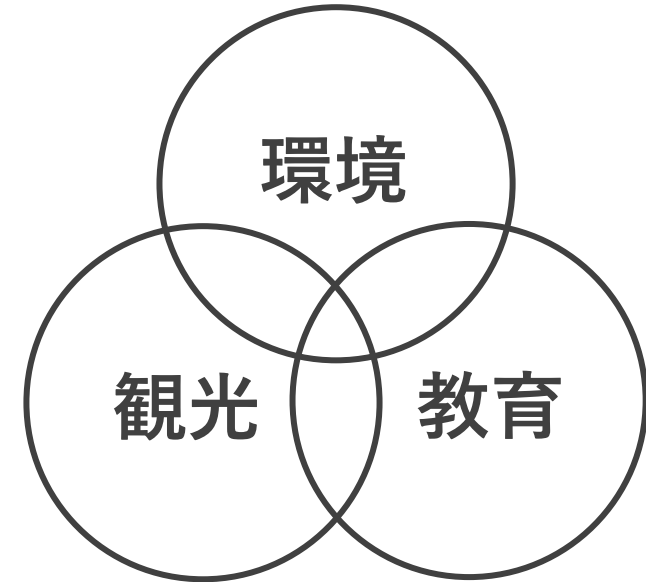
観光地域づくり法人 (DMO)
(一社) 隠岐ジオパーク推進機構

2013年
世界ジオパーク認定

2009年
日本ジオパーク認定

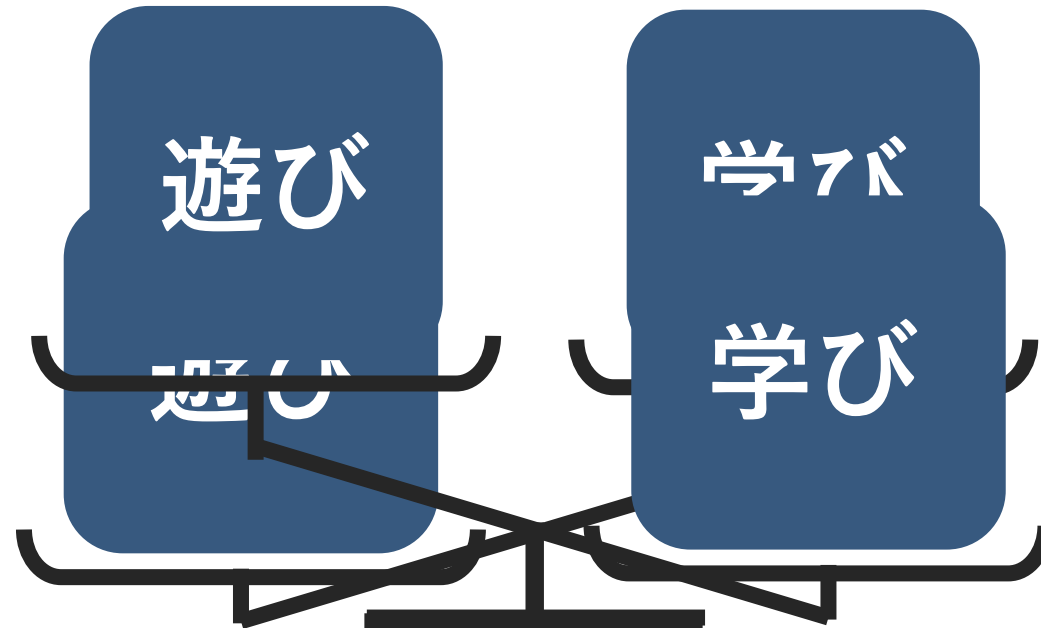
1963年
大山隠岐国立公園に指定

ジオパークを基盤とした 観光地域づくりを更に推進

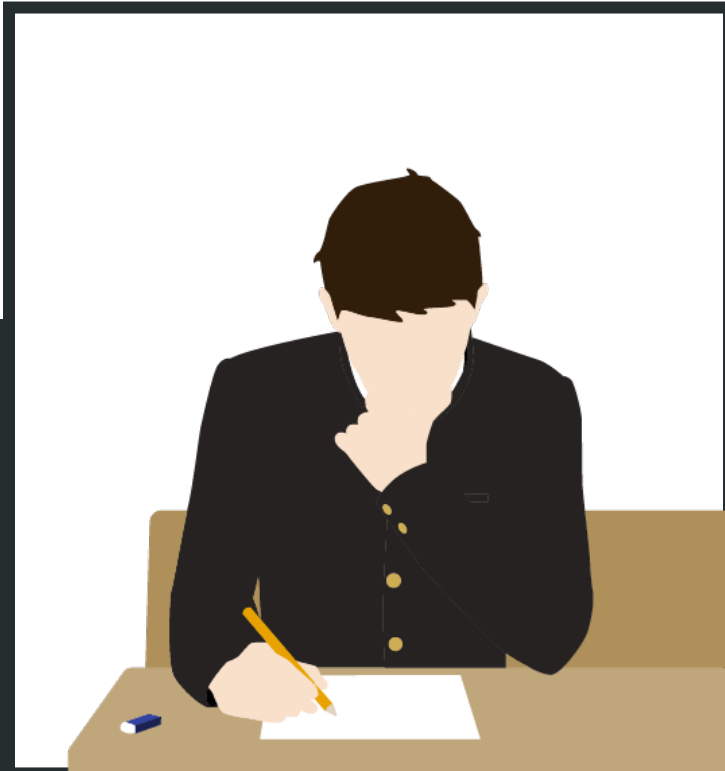


地域住民が地質多様性、生物多様性、
文化多様性の価値を理解し、継承する、
経済的にも豊かな隠岐諸島の実現

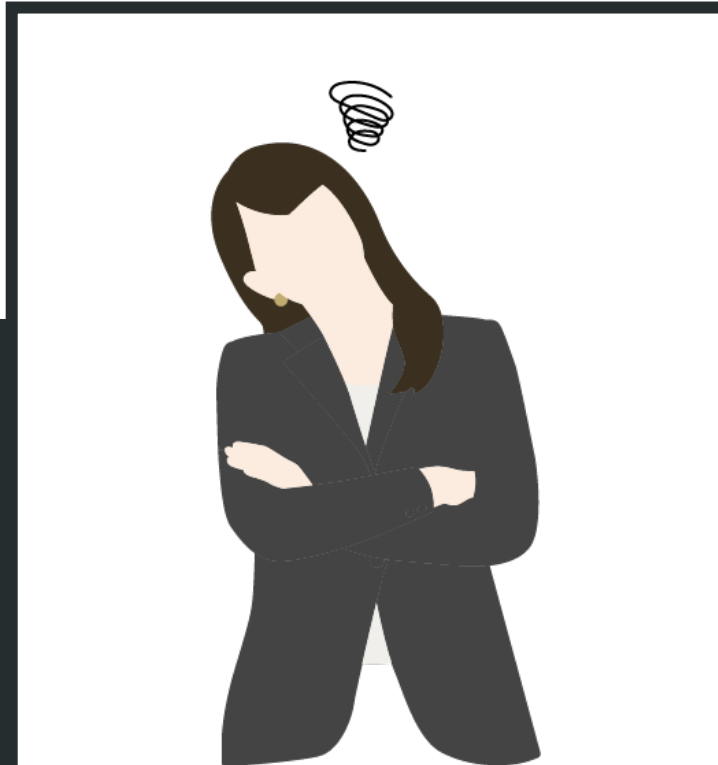
他の地域に行った時、
どっちかになっていませんか？



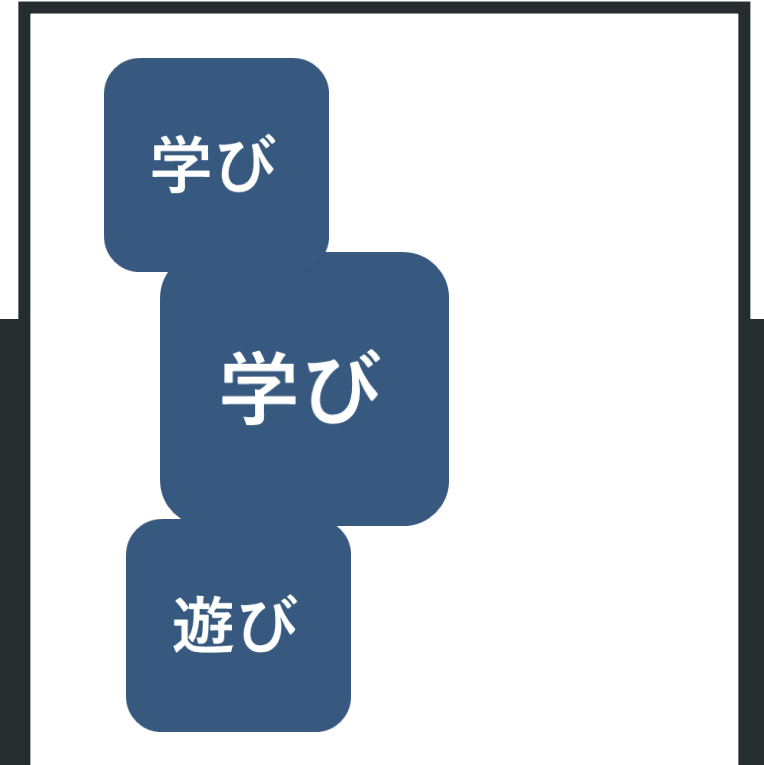
どちらかにかたよる主な原因



一方向的
教えてもらうという意識



どっちも両立したメニューが
想像できない



組み合わせる
メニューがどちらか

島後における

隠岐の島の高校生との 交流メニュー

ワクワク
あそび

フムフム
まなび



隠岐の島の高校生との交流メニュー

ワク
ワク杵を
フミ越える



隠岐地域の目指す姿がポップでわかりやすくなり、
来島者、住民が理解できるようになる

実際に来る理由の一つとして、
島の高校生との交流が定番に

ターゲット

高校生の教育旅行

遊び

学び

ワクワク
を
乗り越える

遊びと学びを両立した
島の高校生との交流メニュー

メニュー提供

島根県立隠岐高校の生徒



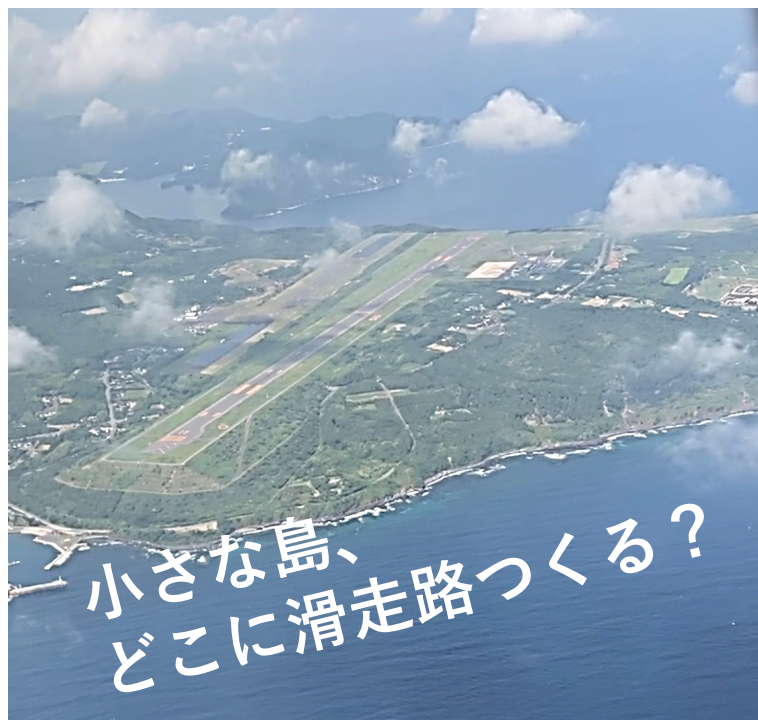
メニュー開発

+

メニュー発信

交流メニュー3つのタイプ

01 ジオパーク学習を



ジオパークを活用した
探究学習での学びを体験

02 身内と一緒に



ディープな隠岐を地元民から
色々な角度で何度でも

03 手伝いを通して



地区で鍛えられたテクニク
手伝いの極意

交流メニュー3つのタイプ

① ジオパーク学習を



② 身内と一緒に



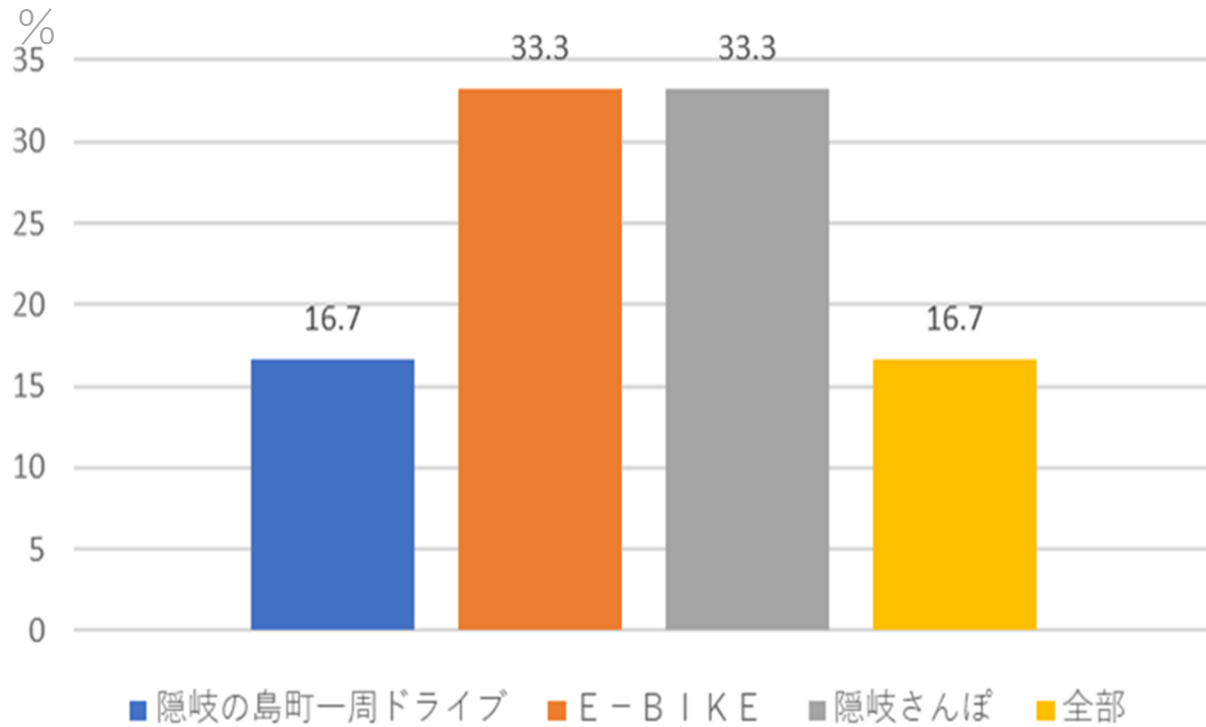
③ 手伝いを通して



日常的にやっているところに関わる体験

体験が印象にのこる

一番楽しかったもの



E-BIKEや体験などの
行為そのものの票が多かった

鳥取県南部町の高校生サークルでの検証

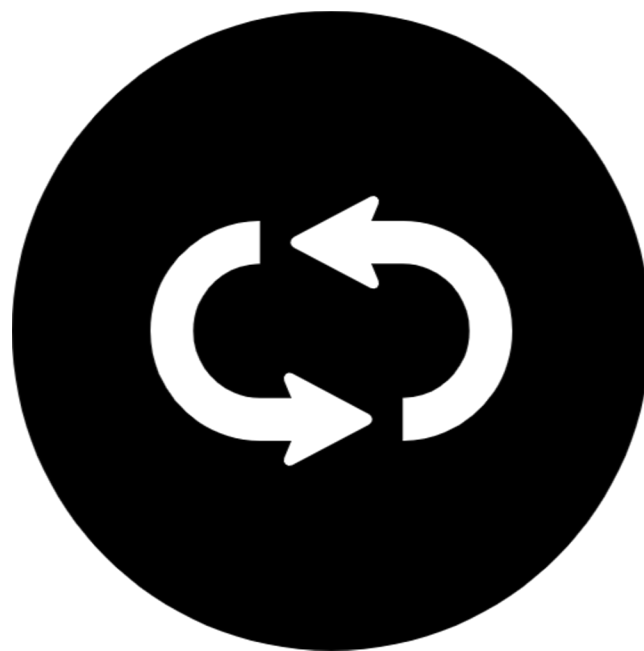


本メニューの良さ

ワクワク 遊び と フムフム 学び の両立



隠岐の高校生だから
できること



「高校生」を起点に
何度でも楽しめる



隠岐だけでなく
自分の地域も考える

ワクワクのバランスのとり方



自分から仕事を探しはじめる体験者

受け身でなく、ワクワクして
自分から学びをとりに行く

バランスをとる 3 ポイント

- 体全体をつかって関わる
- 双方向のやり取り
- 積極性を引き出す近い存在がいる

隠岐の高校生だから

体験者の積極性を引き出します！

距離感



つなぎ役



ゆるさ



ひとりじゃきかん！



「どこで」より「だれと」

何気ない会話のチカラ

当たり前にいる人こそ、おもしろい

京都府丹後緑風高校の視察での検証

鳥取県南部町の高校生サークルでの検証

隠岐高生もチャンスが増える



ワクフムサポーターで巻き込む

- ・ 他の地域の様子が知れる
- ・ 別の視点から地元が見れる
- ・ 普段行けないところに行ける

交流メニューの使い方

島根県隠岐4島の観光・旅行サイト

『隠岐の島旅』

メニューの一つとして掲載

様子や雰囲気ができるよう記事も掲載



大正10年に建てられた古い灯台で、国産第一号の灯台専用レンズを使っている西郷岬灯台（さいごうみさきとうだい）

灯台の近くにはスマホを置けるスタンドがあり、海と港町を背景に写真を撮ることができます。あまり知られていませんが裏にまわって奥の道を進むと展望所があり、高い所から西郷湾を一望できます。

灯台に行くまでの道からも西郷湾を眺めることができ、毎日運行しているフェリーや高速船、飛行機を見たらラッキー！

▲ 記事の例

● 閲覧数等でメニューのニーズも確認

提供について (仮)

対象者

高校生 ※要相談

開催期間

【平日】 2 時間 (16:30~18:30) ※水・金のみ

【土日・祝】 1 時間~最大 5 時間

体験料金

地元のお菓子

体験人数

1 人~10名程度

メニュータイプを選択してもらい、詳細は体験者と調整

交流メニューの使い方



申し込み

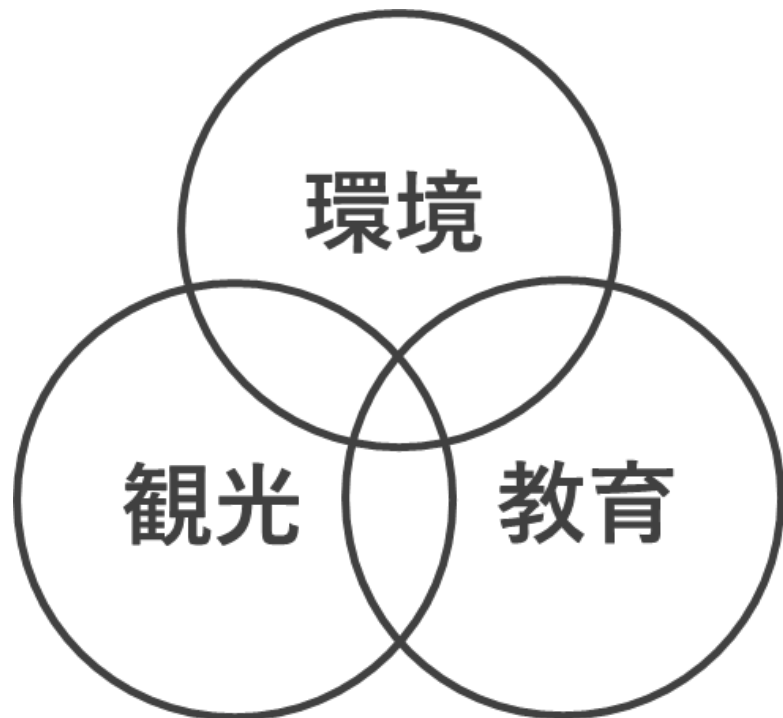
隠岐の島旅
サイト

カスタマイズの
一つとして
「こんなのしたいな」
「高校生と…」



最終的に隠岐地域にとっても

ジオパークを活用した 「教育旅行」という形



地域住民が地質多様性、生物多様性、文化多様性の価値を理解し、継承する、経済的にも豊かな隠岐諸島の実現[?]



そういうことかー！



メニュー協力者の声



今までガイドをしたことない。
体験者の好奇心にはびっくりした！
今度は牛が突きあうところをみてほしい。

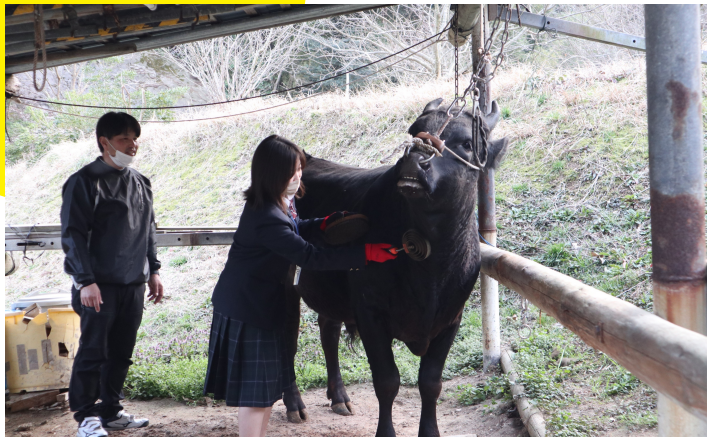
地域の人も巻き込まれる
何事かと思って見に来た。
とてもいいことをしている。

メニューの実行（京都府立丹後緑風高校）

目的：山陰海岸ジオパークを活用に向けた取り組みの視察・体験

02 身内と一緒に

ディープな隠岐を地元民から色んな角度で何度も



歌木地区で突き牛の世話

高校生の放課後
地元スーパー
サンテラスを紹介

ジオパーク学習を
都万の船小屋【景観とくらし】
隠岐自然館



03 手伝いを通して

地区で鍛えられたテクニック
手伝いの極意



都万のおばさんと蕎麦づくり

タイプ 02 身内と一緒に
突き牛の世話
1 時間程度



田んぼと牛
持ってます



突き牛について知るだけでなく、身内の日常の話もします。
レアな集落へ行くきっかけにもなります。
人が巻き込まれる、次は楽しみ方が変わるのがポイント。



タイプ 03 手伝いを通して

郷土料理を

つくって食べよう

2 時間程度



隠岐そばとばくだん
おにぎりをみんなで
つくります。

限られた時間と雑談が
ポイントです。

身内ネットワーク
をフル活用

メニュー体験者の声



おばあちゃんたちの技のすごさを実感

みんなとしゃべりながらつくれたことが思い出

牛の可愛さだけでなく大変さも知って、
またしたい！と思った。

とても近い距離で体験できて、
牛を育てている方の
日常に入り込んだような感覚

隠岐地域の目指す姿がポップでわかりやすくなり、
来島者、住民が理解できるようになる

実際に来る理由の一つとして、
島の高校生との交流が定番に

ターゲット

高校生の教育旅行

遊び

学び

ワク^{ワク}粋を
フミ越える

遊びと学びを両立した
島の高校生との交流メニュー

メニュー提供

島根県立隠岐高校の生徒



メニュー開発

+

メニュー発信

今後の展開

- 期間限定でメニューの提供（2023年GW）
旅行サイト「隠岐の島旅」掲載に向けて調整
→結果データを分析し、共有
- Instagramで宣伝・周知
取り組みを続けるために在校生へも周知

ワク
ワク^{ワク}枠を
フミ越える





さいごに

ご清聴ありがとうございました



ワク^{ワク}枠を
フミ越える

